



阪本小より

令和2年 10月 第315号
 中央区立阪本小学校
 中央区日本橋兜町 15-18
 TEL.03(3666)0044 FAX.03(3668)2366

本を読む意義について

副校長 萩原忠幸

新校舎での教育活動が始まり1か月以上が経ちました。始めは教室の配置等がなかなか把握できず、廊下でうろうろしている子どもも見受けられましたが、今では階が違ふ特別教室や屋上校庭にもスムーズに移動し、自分の目的に応じた学校生活を送ることができています。

さて、新校舎になると職員室も2階になり、自席から見える子どもたちの様子も変わりました。坂本町公園校舎の時は、体育や休み時間による遊びなど、校庭で活発に動く姿が主でしたが、今は、図書室で静かに本を読む姿が主になりました。集中して本を読む子どもたちの姿を見ていると、読書活動がもたらす様々な効果について考えさせられます。

近年、スマートフォン等の普及に伴い、ICT(情報通信技術)を利用する時間が増加傾向にあります。情報に触れることが容易になる一方、視覚的な情報と言葉との結びつきが希薄になり、情報の意味をよく考えたり、文章の構造や内容をきちんと捉えて読解したりする機会が少なくなっています。ある調査結果を見ると、特に学年が進むにつれてその傾向が明らかになっているようです。

子どもたちがよい本と出会い、言葉を学び豊かな感性を磨き表現力を高めるとともに、自分の考えを形成し相手に伝える行動を通して、豊かな人生を送ることは大切なことだと考えます。

私は担任の頃、子どもたちに本を読む楽しさやおもしろさとして、「本を読むことで知らなかったことを知ることができる。多くの知識に触れることができる。」「日常生活ではありえないような素晴らしい体験をすることができる。」「偉人などの登場人物の生き方が自分の生き方の参考になる。」ということを伝え、読書を推奨してきました。

新校舎では図書室だけでなく教室の間にも読書スペースが設けられ、子どもたちが図書に触れやすい工夫がされています。また、現在約8,500冊ある蔵書に加え、新校舎落成の記念にPTAや地域の方からたくさんの書物を寄贈してもらおう予定にもなっています。

阪本小はコロナ禍でも、週2回の朝読書、週1回以上の読書の時間に加え、6月にあじさい読書月間を、11月にコスモス読書月間を実施します。また、10月からは外部講師を招いた教育活動も順次再開し、毎週金曜日の朝に行っていた、リプリントによる読み聞かせも始まります。

家庭でも、夕食後や就寝前など少しの時間を読書に充てて書物を読むことに慣れ、「考える力」「感じる力」「表現する力」「豊かな感性や教養」等を育ててほしいと思います。

最後に、保護者・地域の皆様には、来校や子どもたちの登校の仕方など様々なご協力をいただいております。新校舎においても、今まで同様のご支援をよろしく願いいたします。

<教育相談日>毎週火・金曜にスクールカウンセラーが相談に応じます。

日	曜	10月行事予定
1	木	都民の日
2	金	児童個人面談始
3	土	
4	日	
5	月	安全指導 委員会 視力検査(1~3年) 青空班活動
6	火	
7	水	
8	木	全学年5時間授業 歯科検診(全) 生活科見学(2年)
9	金	校外学習(4年) スマイル保護者研修会
10	土	土曜授業
11	日	
12	月	避難訓練
13	火	
14	水	全学年5時間授業
15	木	校外学習(1・2年)
16	金	研究授業(2年) 1・3~6年午前授業 2年5時間授業 食育(3年)
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	眼科検診(全)
21	水	内科検診(4~6年)
22	木	全学年5時間授業 聴力検査(3・5年) 法教育(6年)
23	金	聴力検査(1・2年) 東京証券オンライン授業(5・6年)
24	土	土曜授業 水道キャラバン(4年)
25	日	
26	月	
27	火	センター教室(4年)
28	水	内科検診(1~3年)
29	木	
30	金	児童個人面談終 スポーツテスト終 前期通知表渡し
31	土	